

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 620103	高齢者交通安全事業				主管課名	防災安全課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	近藤 友久				
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち									
		基本事業	交通安全意識の高揚									
	(1)事業の概要											
	高齢者を対象に交通安全教室を開催する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							地区老人クラブ会員数		人			
							その指標					
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
高齢者を対象に市内の交通安全教育施設等の会場を使用し、交通安全教室を開催する。												
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
自動車運転免許を取得している地区老人クラブ会員						名 称		単 位				
						地区老人クラブ団体数		団体				
						地区老人クラブ会員数		人				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
・正しい交通安全知識と老齢による自動車運転技能の自己の現状(判断力等)を把握し、無理な運転をしないようにし、また、地域の交通安全に対するアドバイザーになってもらう						名 称		単 位				
						高齢者の交通安全教室の開催数		回				
						高齢者の交通安全教室の参加人数		人				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
交通安全意識の高揚を図り市内の交通事故を減らす。						名 称		単 位				
						市内の交通人身事故件数		件				
						交通安全教室開催数		回				
						交通安全教室参加者数		人				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単 位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		人	3,659	3,682	3,705	3,728	3,751	3,774				
(6)の対象指標		団体	21	21	21	21	21	21				
		人	3,659	3,682	3,705	3,728	3,751	3,774				
(7)の成果指標		回	2	2	2	2	2	2				
		人	116	118	126	126	126	126				
(8)の結果の成果指標		件	296	292	290	290	290	290				
		回	33	33	33	33	33	33				
		人	9,549	9,650	9,646	9,705	9,656	9,650				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	13
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	222	205	282	282	282	282				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	222	205	282	282	282	282			
人件費 B		千円	222	226	226	226	226	226				
正職員従事時間×人数		時間×人	30×2	30×2	30×2	30×2	30×2	30×2				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用 C		千円	47	24	30	30	30	30				
トータルコストA+B+C		千円	491	455	538	538	538	538				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/ 団体	23	22	26	26	26	26				
		千円/ 人	0	0	0	0	0	0				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620103	高齢者交通安全事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成6年 から			自動車学校での実技指導やトラック協会の会場での運転適正検査は、高齢による自己の運転能力等の低下を認識することができ、好評を得ている。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
高齢者が関連する交通事故が増加したため				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない				
変化している			変化し人口の急増や幹線道路の整備により市内に流入する交通量が増え交通事故が多発している	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
		結びつかない	→			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容		
		できない	→			
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容		
		追加	→			
		拡充	→			
		絞込み	→			
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
		多少影響がある	→			
		影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	交通安全教室の内容の見直し、より実践的な交通安全教室を開催する		
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない	→				
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	ある → 内容		
	ない	→			類似事業との再編の可能性	ない
効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容	現在の成果水準を下げず、会場経費が安価な教育施設があればコスト削減できる	
		ない	→			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない	→				
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
		ない	→			
		現状で適正				
		検討が必要	→			
		受益者がいない				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	交通事故の撲滅を図るため体験型の交通安全教室を今後も続けていく。					